



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／小野 仁
- 副会長／宮坂宥澄・佐藤有司
- 幹事／山岸邦太郎
- 会報・雑誌・広報委員長／林 尚孝

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-12 ホテル岡谷 3F
Tel/0266-22-6939・Fax/0266-23-6939・URL:<http://okayarc.org>・E-mail:okayarc@amber.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2538 回例会 2011 年（平成 23 年）9 月 20 日（火）

点 鐘：小野 仁 司 会：中畑隆一
ラッキーNo.：No.6 北村正春 齊 唱：手に手つないで

会長挨拶

ガバナー訪問も終わり、補佐訪問の第一回目も終わり、来月の地区大会が終われば前半の大きな行事が一段落します。会員の皆様には多大なご協力をいただきまして、ありがとうございました。

台風 15 号が接近しています。21 日ごろに関東上陸が予想されています。紀州のせき止め湖、東北の被災地も心配ですが、まずは私たちが被害を受けないよう万全の準備をいたしましょう。

幹事報告

例会変更

辰野RC=10/5(水)職場訪問例会に変更。ビジター受付は 12:00~12:30 例会場にて。
10/19(水)→16(日)地区大会に変更。ビジター受付は 19 日 11:30~12:30 クラブ事務所にて。

新世代会長委員会
助成金授与式

ボーイスカウト岡谷第一団 団委員長 児玉隆生様

今日は助成金を頂きありがとうございます。また、昨年の 50 周年には色々ご援助を頂きお世話になりました。次の 50 年に向けてのスタートが出来たと思います。今の情勢から考えますと難しい面もありますが、これからも子供達の健全育成に貢献できればと思っております。

最近改めて思う事は、大学に入るのにボースカウトの推薦状が欲しいという声があります。という事は社会的にも評価してもらっているんだなと感じます。今日はありがとうございました。



ガールスカウト長野第十団 団委員長 藤沢由見子様

いつもありがとうございます。ガールスカウトは昨年日本連盟が90周年を迎えました。その記念行事に当団より2名インターナショナルキャンプへ送り出す事が出来ました。また、他の記念行事として1名が皇后様の前で発表の機会を得ました。全国キャンプへも1名が選考に入り参加出来ました。これからもコツコツと積み上げながら大きな経験に子供達を送り出せたら良いなと思っております。

いつも支えて頂きありがとうございます。今後ともよろしく申し上げます。



卓話「帰国報告」

ロータリー財団奨学生
有賀礼香様

私は岡谷ロータリー・クラブの皆さんのご協力のもと、2010年9月から2011年8月の一年間オランダのユトレヒト大学に留学して参りました。国際親善奨学生として、現地ではオランダ人だけでなく世界各国からの留学生と積極的に交流しました。私個人としては、現地のロータリー・クラブを訪問してスピーチをさせていただいた経験がとても勉強になりました。計六つのクラブでスピーチの機会を頂戴し、主に日本の文化の紹介をしました。その際、限られた時間の中でどのように日本を紹介するか、またオランダでの経験とどのように関連付けるかなど、悩むところが多くありました。スピーチの後に受け付けた質問からはオランダの方がどのようなことに関心を寄せているかを探ることもできました。特に印象に残っているのが、オランダで生活をしてから私の人権に関する観点が何か変わったかという質問でした。これは私が国際人権法を専攻していることと関係しているのですが、質問をされるまで学業と普段の生活の中での体験を特に関連付けて考えたことが無かったので、新たな視点から留学というものを捉え直すきっかけとなりました。

留学生活を通して、外国の方とお互いの国について話す機会も多くありました。教育制度、法制度、医療制度から文化や慣習についてまで幅広く議論することができ、その中でどの国の制度や慣習にもメリットやデメリットがあると感じました。相手の方の文化やどのような環境で育ったのかを知れば知るほど、よりその方を理解することができ、お互いの距離も縮まりました。一年間の留学を終えて今痛感していることは、どの場面においてもコミュニケーションをよくとることが重要だということです。日常生活においても、学業においてもコミュニケーション抜きでスムーズな海外生活を送ることは不可能だと感じました。とりわけ、私が滞在していたシェアハウスでは些細な誤解やコミュニケーション不足によるすれ違いがよく起きました。台所の使い方ひとつをとっても、お互いがそれぞれの価値観だけが正しいと決め付けてしまえば容易に口論に発展してしまいます。

まったく異なる環境から来た方を理解するための切り口としては、皆が興味を持つ「食」を通じたコミュニケーションが有用であると私は感じました。共通する興味を主題とすることで、互いの共通点や相違点を楽しみながら習うことができました。シェアハウスの友達と順番に自国の料理をつくって食卓を囲った経験は今でもいい思い出として残っています。また、海外からの寿司に対する関心の高さに驚いた一方で、その他の日本の家庭料理があ

まし知られていないことにも気が付きました。その上で、海外に向けて日本について発信するときは、海外の方が日本に対しどのようなイメージを持っているかを知ることが重要な鍵になると感じました。

結論としては、国際親善奨学生として留学の機会を頂いたことにより個々人のレベルで海外の方と強い絆を結ぶことができ、海外の方の日本に対する理解を深めることができました。この度の留学で得たものは一年間で完結するようなものではなく、私の生涯を通じて引き続き国境を越えた相互理解の発展に向けて取り組んで参りたいと思います。大変貴重な機会を可能とくださった岡谷ロータリー・クラブの皆さんには、今後も国際親善奨学生の精神を存続させていくことでご恩を返させて頂きたいと思います。今まで有難うございました。



国際刑事裁判所（ハーグ）



ニコニコボックス

梅垣和彦・太田博久・大橋正明・小口成人・小口雅弘・小口泰史・尾関秀雄・小野仁・笠原祥一・北澤洋之介・北村正春・小松正二・杉田隆夫・瀬戸雅三・高木昭好・竹村一幸・塚田保則・中村文明・濱 透・濱 俊弘・林 靖高・原 史郎・平沢清文・藤森睦美・宮坂 伸・宮坂宥澄・矢崎宏明・矢島 進・矢島 實・山岡晴男・山岡正邦・山岸邦太郎・山崎典夫 名誉会員今井竜吾様、再選おめでとうございます。二期目の活躍に期待します。
矢崎宏明 欠席が続きました。

出席報告

会員数47名、出席者35名、出席率79.55%、前々回訂正59.52%

2011-2012 年度 R I テーマ
こころの中を見つめよう
博愛を広げるために
Reach Within to Embrace Humanity

